



# おくたま

## 第184号

平成30年2月5日発行

# 町議会だより



わさびー

編集・発行 奥多摩町議会 電話 0428-83-2302(直通) 奥多摩町ホームページ <http://www.town.okutama.tokyo.jp/>

## 新しい議会構成が決まりました

皆様のご支援を

お願い申し上げます



議長  
師岡伸公



副議長  
高橋邦男

就任にあたって

昨年12月1日より、各議員が所属する委員会、及びその正副委員長等の議会構成が替わり、私も師岡伸公、高橋邦男が正副議長に就任いたしました。微力ではありますが、その使命を果たしてまいります。

町政においては、下水道事業をはじめとする重要事業の多くが完了し、町の生活環境の整備も順調に進行しています。

町の最重要施策である「少子化・定住化対策事業」も重点的に実施してきた結果、少しずつ効果を表し、ここ数年人口減少のスピードが減速してきています。今年1月現在の人口は、1年前に比べ37名減で、近年になり減少数の少ない年となりました。

町には「過疎化・少子化」を含め、取組むべき課題が多くありますが、町民皆様のご期待に添えるよう、議員活動を通じて、より良い町づくりのために努力してまいります。

### 第1回臨時町議会

11月30日、第1回臨時会が招集され、正副議長の選挙をはじめ、各常任委員会委員の選任が、次のとおり決定しました。

○委員長 ○副委員長

(常任委員会等)

総務文教常任委員会(6名)

○小峰 陽一 ○澤本 幹男

木村 圭 大澤由香里

村木 征一 師岡 伸公

経済厚生常任委員会(6名)

○原島 幸次 ○清水 明

石田 芳英 宮野 亨

高橋 邦男 須崎 眞

議会運営委員会(6名)

○須崎 眞 ○宮野 亨

大澤由香里 小峰 陽一

高橋 邦男 原島 幸次

### 町長提出議案と結果

次の議案が提出され、いずれも全議員の賛成により、原案のとおり承認、可決されました。

専決処分

○議案第54号

平成29年度一般会計補正予算(第3号)

条 例

○議案第55号

議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

○議案第56号

特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

○議案第57号

奥多摩町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

補正予算

○議案第58号

一般会計(第4号)

○議案第59号

都民の森管理運営事業特別会計(第2号)

○議案第60号

山のふるさと村管理運営事業特別会計(第2号)

○議案第61号

下水道事業特別会計(第2号)

契 約

○議案第62号

原生活館改修工事

西秋川衛生組合議会(3名)

清水 明 石田 芳英

宮野 亨

秋川流域斎場組合議会(2名)

澤本 幹男 小峰 陽一

三多摩上下水及び道路建設促進

協議会(4名)

理事 師岡 伸公

第1委員会(上水)

澤本 幹男

第2委員会(下水)

石田 芳英

第3委員会(道路建設)

大澤由香里

三鷹・立川間立体化複々線促進協議会(2名)

小峰 陽一 師岡 伸公

多摩都市モノレール等建設促進協議会(2名)

小峰 陽一 師岡 伸公

### 第4回定例町議会

第4回定例会は、12月12日から15日までの会期4日間にわたり開催され、一部事務組合議会議員の選任等、次のとおり決定しました。

多摩川南岸道路建設促進協議会

(7名)

村木 征一 石田 芳英  
木村 圭 大澤由香里  
清水 明 高橋 邦男  
原島 幸次

環境審議会 (3名)

木村 圭 宮野 亨  
村木 征一

小口事業資金融資制度等審議会

(3名)

大澤由香里 清水 明  
村木 征一

議会だより編集委員会 (5名)

高橋 邦男 木村 圭  
澤本 幹男 清水 明  
宮野 亨

消防団員等公務災害給与金支給

審査委員会 (3名)

小峰 陽一 高橋 邦男  
師岡 伸公

表彰審査委員会 (4名)

小峰 陽一 高橋 邦男  
原島 幸次 師岡 伸公

西多摩地域広域行政圏協議会審

議会 (3名)

小峰 陽一 高橋 邦男  
師岡 伸公

青少年問題協議会 (3名)

大澤由香里 澤本 幹男  
石田 芳英

下水道事業運営委員会 (2名)

石田 芳英 村木 征一

三か町村議会議員広域連絡協議

会 (12名)

全議員

大多摩観光連盟 (1名)

健康づくり推進協議会 (1名)

村木 征一  
国民健康保険運営協議会 (1名)

奥多摩・檜原間林道鋸山線改修

都道編入促進協議会 (7名)

澤本 幹男 清水 明  
小峰 陽一 石田 芳英  
宮野 亨 高橋 邦男  
師岡 伸公

補正予算

○議案第64号

一般会計 (第5号)

○議案第65号

都民の森管理運営事業特別会  
計 (第3号)

○議案第66号

下水道事業特別会計 (第3号)

人 事

○議案第67号

議会選出監査委員、師岡伸公  
氏の辞職に伴い、監査委員の選  
任の同意

木村 圭氏 (新任)

(氷川1479番地)

○人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員、澤井美津枝氏  
の任期満了に伴い、その後任  
として師岡さと子氏を推薦す  
ることに適任と判断しました。

師岡さと子氏 (新任)

(小丹波379番地1)

### 町長提出議案と結果



今後2年間、以上の構成で町  
の諸課題に取り組んでいきます。

次の議案が提出され、いずれも  
全議員の賛成により、原案のと  
おり可決、同意されました。

契 約

○議案第63号

消防団員用デジタル簡易無線  
購入

# 一般質問

平成29年第4回定例会では、10名の議員が一般質問を行いました。ここでは、紙面の都合により、内容を要約して質問者順に掲載しています。質問・答弁の全文は、2月中旬頃より、ホームページで閲覧できます。(町ホームページ～町議会～会議記録)

また、町内各図書館でも会議録をご覧いただけます。



QRコード

町ホームページは、スマートフォン・タブレット端末等でもご覧いただけます。

(1) 6番 石田 芳英議員 (5ページ)

- ①公共施設の集約化・長寿命化と今後の有効活用について

(2) 3番 澤本 幹男議員 (5ページ)

- ①2025年問題と介護保険事業について

(3) 8番 高橋 邦男議員 (6ページ)

- ①町を挙げて「健康寿命」の伸長を  
②「自主財源確保」への取り組みを

(4) 10番 村木 征一議員 (6ページ)

- ①放置森林を集約管理し、災害に強い町づくりの実現について

(5) 9番 原島 幸次議員 (7ページ)

- ①「奥多摩中学校」バス停留所の屋根設置について

(6) 1番 木村 圭議員 (7ページ)

- ①元気づくり計画の中の起業家等への支援について

(7) 7番 宮野 亨議員 (8ページ)

- ①道路脇の立木の伐採について

(8) 5番 小峰 陽一議員 (8ページ)

- ①町の空家の現況と今後の空家対策は

(9) 4番 清水 明議員 (9ページ)

- ①食品ロスの削減を目的にした「30・10運動」について

(10) 2番 大澤 由香里議員 (9ページ)

- ①「核兵器禁止条約についての町長の見解について」  
②国民健康保険の広域化について



いしだ よしひで  
石田 芳英 議員

**問** 公共施設の集約化・長寿命化と今後の有効活用は

**答** 中長期的に、町の実情に合った公共施設の集約化・再編を検討していく

**質問** 新しい地方公会計の導入に伴い、町所有の有形固定資産の把握や評価がクローズアップされ、耐用年数が到来した有形固定資産の更新や長寿命化が大きな課題となっている。また、維持管理費もかかる事から今後のコストパフォーマンスの効率性と集約化・整理が併せて重視されている。

定した町公共施設等総合管理計画を基本に、年次計画を策定していく方針。

**①** 公共施設の集約化や長寿命化の基本方針は。

**②** 南氷川 旧埼玉銀行は、耐震診断の結果、耐震基準を満たさないことが判明したため、古文書や絵画などの収納庫としての活用にとどめ、必要最小限の予算により維持管理を行っている。

**②** 南氷川 旧埼玉銀行と大氷川 甲州屋建物とその周辺の具体的な有効活用や整備・修繕等の考えは。

大氷川 甲州屋建物・土地は、今後の公共施設の用に供するため平成28年度に取得。住民皆様、観光客の皆様にとって、有効活用が図られるよう検討を進める。

**町長**

**①** 公共施設の集約化は、広大な行政面積を有し、集落も広範囲に点在している上に、高齢者が多い状況にある。住民サービスの観点から一朝一夕に行うことは困難と考えている。

長寿命化は、公共施設等の全体的な状況を把握することを目的に策



大氷川 甲州屋建物

**問** 2025年問題と介護保険事業は

**答** 地域の中で安心して、暮らし続けることが出来る町にしていきたい



さわもと みきお  
澤本 幹男 議員

**質問** 2025年に団塊の世代が全て75歳以上となる。日本全体では4人に1人が75歳以上となる超高齢化社会を迎える。それが2025年問題と言われ、この問題に対し介護保険事業の重要性がより高まり、また、多額の費用・予算が必要となる。町の今後の予想や対応・対策は。

づくりを推進していく「新しい介護予防・日常生活支援総合事業」を創設し、支援する仕組みを構築した。町でも10月から地域包括支援センターに生活支援コーディネーターを配置し、地域の老人クラブ等を訪問しながら地域活動を支援している。

**町長**

高齢者数の増により介護保険利用者数の増が考えられ、住民ニーズに答えるサービスが必要となる。中でも多くの方が利用しているのは介護老人福祉施設で、町内には4つの施設がある。今後、高齢化の進行に伴い、自宅生活の困難な方が増えてくることが予想される。都全体では要介護3以上であっても、入所できずに待機している高齢者が多数いる。

こうした状況を解決するため、厚生労働省は、地域の支え合いの体制

2025年問題に限らず、必要とするサービスを適切に、切れ目なく提供する「地域包括ケアシステム」を構築することで、介護保険の利用者だけでなく、高齢者全体を対象に、地域の民生・児童委員の皆様や、警察等の関係機関が、連携して情報収集にあたり、地域の高齢者皆様の実情を把握し、介護予防、認知症予防につなげ、高齢化が進行していくなかでも、地域の中で安心して、暮らし続けることができる町にしていきたいと考えている。



たかはし くにお 議員  
高橋 邦男

**問** 町を挙げて「健康寿命」の伸長を

**答** 町民と行政が力を合わせていくことが重要

**質問** 町は町民の健康意識の啓発や運動や食を通じての健康づくり

のために、様々な施策を実施している。しかし、健康づくり教室等への参加数や検診の受診率等を見る限り、町民の健康意識は高いとは言えない状況にある。健康づくりに対するアピールが弱いのでは？私は、町が「日本一観光トイレがきれいなまち」を掲げているように、まず「健康寿命日本一のまち」を指すというアドバルーンを掲げることが必要ではないかと考える。そして、健康づくり推進協議会を中心に、町民皆様が自ら進んで参加できるようなプラン等を提供すべきである。そこで、町の健康寿命伸長への取組状況と今後の取組を伺う。

**町長** 健康相談事業、保健推進員活動、森林セラピー健康づくり事業、食育講習会等を実施しているが、課題は参加者の固定化。一部の方は健

康に関心があり、事業にも参加しているが、健康に無関心の方も多くいる。こうした方々に、いかに事業に参加いただくかが、最も困難であり、重要な課題である。議員からご指摘の各事業の有機的な連携も現状の参加者の年齢構成を見ると65歳以上の高齢者が全体の多数を占めている状況であるため、アピールの仕方を工夫する必要がある。また、介護予防の観点からの事業実施も必要と考える。

今後、健康増進計画等策定にあたり、町民皆様にアンケート調査を実施し、健康意識の現状把握を行い、健康無関心層に対する働きかけの強化や健康事業の再編等に加え、スポーツ団体等との連携を盛り込んだ計画にする必要がある。健康寿命の伸長は、行政だけでは達成できないので、町民皆様のご理解とご協力が必要不可欠であると考えている。



むらき せいいち 議員  
村木 征一

**問** 放置森林を集約管理し、災害に強い町づくりの実現を

**答** 今後の国・都の動向を注視していく

**質問** 国は、手入れがされず放置されている人工林を林業経営者に集約しやすくする新たな森林管理制度をつくり、大規模化で林業の競争力を強化するとともに、間伐などの適切な管理を進め災害に強い森林を増やすとして来年度以降の制度創設を目指している。新制度は、所有者がきちんと手入れができない場合、市町村に管理を委託し、市町村が経営規模の拡大を目指す林業経営者に貸し出す仕組みで、市町村が仲介役となる公的な枠組を作ることで利用を促すとしている。また必要な財源は政府与党が検討する森林環境税を充てるとのこと。

山岳急峻で94%が山林である当町にあって、放置森林を集約管理することで豪雨による流木被害を未然に防止することは極めて重要である。町の所見は。

**町長** 森林は町の重要な資源であり、森林整備の活性化を図り、資源を活用することは、地域産業の活性化を図ると同時に、森林の持つ土砂災害等を防止する国土保全機能、水源涵養機能の活性化を図ることもなる。

町でも町森林整備計画において、水源涵養機能等の公益的機能が十分発揮でき、山地災害や自然災害に対し抵抗力が大きく、木材の搬出が可能な地域は、木材生産能力の高い森林をつくることを基本方針として進めている。

現時点では、市町村に対して国や都から森林環境税の創設及び新たな森林管理システムの構築に関する詳細な説明会などは開催されていないので、今後の国・都の動向を注視していく考えである。



はらしま けいすけ 議員  
原島 幸次

**問** 「奥多摩中学校」バス停留所(※)の屋根設置を

※以下「バス停」という。

**答** 関係機関との調整が整った段階で、実際に向けた手続きを進めたい

**質問** 現在、バス停には丸太を半分

に割って作ったベンチが1つ設置してあるが、雨や雪の日にはベンチが濡れてしまい腰を掛けることができず、特に急な夕立や大雨の時には、傘をかぶっていても靴やズボンが濡れてしまう。新青梅街道を走る都バスでは、所々のバス停の歩道部分に屋根が設置されている。

そこで、奥多摩中学校バス停の歩道部分に屋根設置についての考えを伺う。

**町長** 町では、企画財政課が窓口となつて、バスの運行会社である西東京バス株式会社と定期的に生活交通路線の勉強会を開催。勉強会では、ダイヤ改正をはじめ、様々な事案への検討や課題の解決に向けて協議している。

バス停の屋根設置は、過去の勉強会で採り上げられ、今回の質問を契機に直近の勉強会で改めて西東京

バス株式会社と協議した結果、事務担当者レベルではあるが、前向きな回答をいただいた。

実施は、道路管理者の都建設局や交通関係を所管する警察等にも確認を行う必要があるが、工事費等は町側で負担する方向。今後は西東京バス株式会社と細かい部分の打合せを進めるとともに、主な利用者となる生徒が在籍する奥多摩中学校側への聞き取りも行いながら、一定の方向性や関係機関との調整が整った段階

で、実際に向けた手続きを進めたい。



「奥多摩中学校」バス停



きむら けいすけ 議員  
木村 圭

**問** 起業家・就業者への支援を

**答** 町が管理する空家等の活用の可能性を

**質問** 先日、都内に暮らす若者が町

内で様々な体験をベースに奥多摩の自然を活用した観光事業を起業したいと私のところを訪ねてきた。

起業家支援及び、U・イターンの方の就業に力を入れることが、町に住みたい・住み続けたい人を増やす手立てと考える。起業家の増加と成功により、町民の新たな就業先が確保され職業の選択肢の拡大が図られ、町民の充実した豊かな暮らしに繋がる。起業家・就業者支援の今後の取り組みは。

**町長** 町では、今年度に入り、定住対策の一環で町小規模事業者等進出に係る優遇措置実施要綱を制定。これは、町外の優秀な技術及び人材を保有する事業者を町に集積し、地域経済の活性化・定住化の促進を図るため、町が管理する空家、空地及び遊休施設を町が認める範囲で優先して活用できる等の優遇措置を

定め、事業者の移転を促進することを目的としている。

対象となるには、新規の町外から町内への事業所設置及び法人登記や勤務する者が町内在住であること等の諸条件があり、制度活用には登録申請を行う必要がある。

空家等の活用は、全国的に大きな課題となつていて、町にも多くの空家が点在している。町が管理している物件は、起業・就労支援の観点から活用の可能性を拡げていきたいと考えている。

奥多摩町まち・ひと・しごと創生総合戦略

**基本目標1**  
奥多摩町の地域資源を最大限に活用し  
雇用に結びつけます。

【重点課題1】 企業・事業者の誘致と起業家・就業者への支援

- 【施策1】 事業仲介の誘致
  - ※空家、空き家の有効活用を図り、新たに事業展開したい企業や事業者の発掘を進めるとともに、商業地や取組制度を活用した事業者の誘致を支援し、起業・事業展開の支援を行います。
- 【施策2】 観光体験窓口の設置と就労支援
  - ※町内観光中核的企業等に就労機会を提供し、町内観光客の滞在期間を伸ばすとともに、町内からの就業希望者に対する、総合相談窓口の拡充を図ります。
- 【施策3】 SOHOによる起業家等の支援
  - ※空き/レンタル制度の活用により、サテライト・オフィスや観光関連事業内等の誘致を図るとともに、豊かな自然環境の中で仕事を営む起業家等を積極的に誘致します。

事業実績(計画内)	目標値(計画)
相談窓口の設置及び相談件数	1ヵ所 20件(計画)
小規模事業者の開設件数	4件

「元気づくり計画」の基本目標1



みやの 宮野 亨 議員

問 道路脇の立木の伐採について

答 関係者皆様の相互理解のもと進めていきたい

【質問】 冬期、積雪による倒木、除雪、凍結、観光等の側面から、道路幅位、両脇の立木の伐採と枝打ちをしてもらいたい。段階的、長期的に取り組んでもらいたい。過去にも要望されているが、町の所見は。

【町長】 公共道路の管理に支障を及ぼす支障木は、第一義的に、その所有者が伐採すべきものだが、林業の不振や不在村所有者の増加等によりその対応が容易でない状況。

町では、基幹的的道路である国道、都道を管理する都西多摩建設事務所に対し、継続的に支障木等の伐採をお願いしているが、町同様に道路管理者ができる範囲は、道路区域内に限られ、道路に隣接する道路区域外の山林内の伐採等は、山林所有者の協力が不可欠となる。また、バス路線や生活路線等、重要路線は、山林所有者の承諾を得ながら伐採を進めているが、電線等に影響がある



木々に覆われた道路

と思われる支障木等は、停電等の事故発生の危険性もあることから東京電力等に依頼して、支障木の伐採や枝葉の剪定等をお願いしている。今後も住民生活に支障となる支障木等の対応については、住民皆様の安全・安心を最優先に、道路管理者、地元自治会、並びに山林所有者の相互理解のもと進めていきたいと考えている。



こみね よういち 小峰 陽一 議員

問 町の空家の現状と今後の空家対策は

答 今後も「活用」を中心に実施していく

【質問】 町空家等対策基本条例が施行され、調査が進むと思われるが、住民皆さんの心配は、防犯・防災・安全、衛生面等が懸念され、自治会等に苦情が寄せられている。空家の現状把握と今後の対策は。

【町長】 空家の現状把握は下表を参照。

今後の対応は、放置しておくとの財産になる空家を定住対策の資源として積極的に活用する方針である。また、管理不適切と思われる空家等は、特定空家等認定審査会で審査し、今後の方針や基本計画等を決定し、対処していくことを考えている。税などを適正に課税することにより、特定空家にならないように未然に防ぐことも重要であるため、関係各課と連携する。

	質問事項：空家の把握状況	町の回答 (H29.12.1現在)
1	空家の戸数は	469件
2	所有者が確認できている戸数は	462戸
3	所有権が未相続の戸数は	198戸
4	所有者が不明の戸数は	7戸
5	町が所有している戸数は	10戸
6	空家が活用されている戸数は	71戸
7	所有者による管理ができている戸数は	462戸
8	所有者による管理ができていない戸数は	7戸
9	倒壊の恐れのある空家の戸数は	0戸





しみず あきら 清水 明 議員

問 食品ロス削減運動への参加を検討すべきでは

答 参加することのメリット等を検討していく

質問 30・10(さんまる いちまる)運動は、宴会開始から30分間は料理を楽しみ終了前10分間は自席に戻って食べきること、食べ残しを減らすことを目指した運動として

全国に広まりつつある。また、昨年は食品ロスを削減することを目的に、全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会が設立された。環境面からもごみ減量化の点からも町においてもこうした自治体間ネットワークとの連携や30・10運動のような食品ロス削減運動への参加を検討すべきでは。

町長 食品ロスを含む可燃ごみ等、ごみ処理等に関する方針を定めた町一般廃棄物処理基本計画があり、この計画は概ね5年毎に見直しを行うものと定め、今年度中に策定を予定している。食品ロスの明記は、これまでの計画にはなかったが、社会情勢の変化を踏まえ、ごみの減量

化、資源保護の観点から今回の改定で明記し、宴席における30・10運動の推進等、具体的な普及啓発活動を盛り込む形で審議会に示したいと考えている。なお、質問の全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会等への参加も、参加することのメリット等を検討していく。いず

れにしても、ごみの減量化を推進し、食品ロス等の削減により、環境負荷の軽減に努めるとともに、地球温暖化の影響による豪雨や干ばつ、日照不足等様々な気候変動が食糧生産に悪影響を及ぼしているため、森林を多く保有する町として、今後も森林環境の保全を通じて温暖化抑制に寄与

していきたいと考えている。



PR用コースター (見本)

長野県松本市HPより



おおさわ ゆかり 大澤 由香里 議員

問 「核兵器禁止条約」についての町長の見解について

答 平和首長会議の加盟自治体として取り組みを進めたい

質問 国連会議での核兵器禁止条約の採択についてどう受けとめて

いるか。また、平和首長会議が取り組んでいる世界のすべての国が核兵器禁止条約を締結することの早期実現を目指した署名運動に、町長自らも賛同し、公共施設にも署名コーナーを設ける等、積極的に取り組むべきと思うが、町長の考えは。

町長 核兵器の廃絶については平成17年第3回定例会で、核兵器の廃絶や戦争のない平和な世界の実現に向け、核兵器廃絶平和な町宣言を求める決議が町議会議員の全会一致で可決された。

私はこの決議を真摯に受けとめ、平成17年第4回定例会に町核兵器廃絶平和な町宣言についてを議案として上程し、全会一致でご決定をいただいた。白丸の町営駐車場へ核兵器廃絶平和宣言の町の広告塔を設置、例規集への宣言文の掲載など、

核兵器廃絶に向けた町の願いを発信したところである。また、世界の都市が国境を越えて連帯し、ともに核兵器廃絶への道を切り開こうと

町も加盟している平和首長会議は、核兵器廃絶のためには核兵器を法的に禁止する枠組みが不可欠であるとの信念のもと、その早期実現を訴えてきており、その訴えが実を結び、核兵器の禁止を明文化した核兵器禁止条約が採択された。条約採択後に開催された第9回平和首長会議総会でも核兵器のない世界の実現に向けて邁進することを決意し、核兵器保有国を含む全ての国に対して条約への加盟を要請し、一日も早い発効を決議したところである。

町としても、今後も大きな脅威である核兵器の廃絶に向けて、平和首長会議の加盟自治体として取り組みを進めたいと考えている。

議 会 日 誌

11月

- 3日 功労者表彰式
- 6日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会
- 10日 火災予防業務協力者に対する表彰式等
- 11日 海沢ふれあい農園10周年記念式典
- 12日 第58回加藤旗争奪駅伝競走大会開会式
- 14日 全国過疎地域自立促進連盟第48回定期総会
- 21日 都市町村議会議員公務災害補償等組合議会臨時会
- 22日 第61回町村議会議長全国大会  
都町村議会議長会決算監査  
日中友好訪日団町長表敬訪問
- 23日 24日  
町・神津島村友好交流協定締結  
祝賀会

12月

- 17日 西多摩地区消防大会優勝報告会(第1分団)
- 20日 歳末たすけあい・地域福祉募金配分会

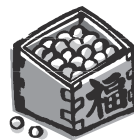
1月

- 27日 JR東日本八王子支社へ要請書提出
- 5日 青梅商工会議所賀詞交歓会
- 7日 消防団出初式
- 8日 成人の日の式
- 13日 青梅警察署武道始式
- 15日 西多摩地区議長会賀詞交歓会  
小口事業資金融資制度審議会
- 16日 17日  
都町村議会議長会先進町村議会議調査(千葉県長生郡長生村他)
- 19日 議会だより編集委員会  
西多摩郡町村議会議長会臨時総会
- 23日 三多摩地区消防運営協議会第二部会
- 24日 青梅防犯協会役員新年会
- 25日 青梅交通安全協会理事新年会  
三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会正副委員長会議
- 27日 消防団新年会
- 29日 都市町村議会議員公務災害補償等組合議会定例会  
三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会
- 30日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会  
体育協会新年会
- 31日 消防関係六団体合同新年会

議会だよりのご感想を  
およせください

また、議会に対するご意見・ご要望等がありましたら、お気軽に議会事務局までお知らせください。

編集後記



昨年、小河内ダムは竣工60周年を迎えました。60周年記念にあたり、町の「元氣なまちづくり委員会」主催による「湖底の故郷を語る会」が開催され、湖底の故郷を知る3名の方からお話を聴くことが出来ました。

湖に沈む前の人々の暮らしや風景、故郷を去らねばならなかった人々の苦悩などを語っていただきました。

このダム建設では、3村、945世帯の住民皆さんが移転を余儀なくされ、工事関係者87名の方々が殉職しています。小河内ダムは多くの人々の大きな犠牲の上に完成されたのです。奥多摩町の歴史を語る上で、このダム建設の歴史を欠くことはできません。私たちは、このダム建設の歴史を後世に伝えるとともに、水資源の大切さを再認識しなければならぬと思いました。

第1回定例会

3月6日頃から予定しています。  
詳細は、町ホームページ、防災行政無線でお知らせします。  
皆様の傍聴をお待ちしています。

木村 圭 (高橋 邦男)  
澤本 幹男  
清水 明 宮野 亨